

ウェルビーイングをめざして

校長 蛭谷 俊明

本校のホームページをご覧くださいありがとうございます。

本校は昭和53年に創立し、開校46年目を迎えます。

令和5年度は、1年生57名を迎え入れ、各学年2学級の編成となり、全16学級、全校児童303名、教職員40名の構成で教育活動をスタートしました。



本年度の教育目標や重点目標は以下の通りとなります。

教育目標を具現化するため、子どもたちへそれぞれの資質・能力を身につける活動を進めてまいります。

■教育目標と具体的な姿

【教育目標】

やさしさいっぱい 大麻泉の子

【具体的な姿】

- 思いやりのある子ども（情）
周りの人を尊重し、いたわりのある心豊かな子ども
- 進んで考える子ども（知）
自ら進んで考え、自ら判断し、自ら表現する子ども
- 明るく元気な子ども（体）
心身ともに健康で、明るい子ども

■重点目標と指導の重点

▶重点目標

夢を育み、未来を切り拓く子供の育成

～認め合い、主体的に考え、よりよく行動する～

▶9年間で目指す姿<大麻東中学校区共通>

- 思いやりのある子・・・優しい心で 協働できる子
- かんがえ、つたえあう子・・・知性を磨き 表現する子
- すこやかな子・・・自己実現に向けて 心身を鍛える子

▶指導の重点

- ① 基礎学力を土台にし、学び方・考え方を獲得させる学習指導
- ② 支持的風土に根ざした学級経営（集団づくり）の充実と個を生かす「積極的な生徒指導」の推進
- ③ 認め合う評価活動の位置づけと人間理解、人権教育等の推進。読書活動の充実
- ④ 多様な運動経験と量的保障および運動環境の整備

1. 令和5年度から、市内一斉で小中一貫教育が開始されます。“笑顔で迎える15の春”の実現に向け、一貫した指導を重視し、学習生活のスタンダードの確立に努めます。
また、小中学校の教科書や教育課程系統表を活用した、系統的な指導を推進していきます。
さらには、合同会議や体験登校、合同行事、乗り入れ授業、参観授業など、補完的・相乗的な指導を組み入れ、子どもたちが大麻東中学校区で身につけるべき資質能力を育みながら教育活動を展開してまいります。
2. GIGAスクール構想では、学習内容の成果が高まるよう、整備されたツールを効果的に活用し、学校の中に新しい学びの姿を定着させます。また、端末持ち帰りの際は「ルールの徹底」を図り、順守しながら適切に活用する態度を育成していきます。
3. 主体的な学び・対話的で深い学びや「積極的な生徒指導」を授業で推進し、体験的な活動を組み入れ、協働的な学びを付加し、子どもたちに必要とされるそれぞれの資質能力を育てていきます。
4. 江別型コミュニティスクール、小中一貫教育等を機能させ、社会に開かれた教育課程の実現をめざします。夢を語りながら未来の社会を築いていく子どもたちのために、「共に磨き、共に支え、共に創る」学校・保護者・地域のコミュニティづくりを進めていきます。

子どもたちのために『全職員で全校児童を育てる・やりっぱなしにしない』の下、知と力を結集させ教育活動を進めてまいります。

コロナ禍は沈静化しつつありますが、子どもたちの生命・安全を守り、笑顔あふれる新しい教育活動を創造してまいりますので、本校の教育活動にご理解とご支援を賜りますようお願いいたします。